

2026筑波マイスター・トロフィー MASTER250・Over60KID's NinjaTeamGreenCup・G310Trophy

JASC
JASC Foundation

公式通知 No. 2 - 3

2026年 6月 2日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

※重要 【大会期間中の注意事項 及び お知らせ】

- ・大会期間中、入場する全ての車両は、発行された車両通行証を外部から確認できる位置に提示してください。
- ・駐車場での（エントラント駐車場・貸しガレージ付近）でのエンジン始動は禁止です。近隣の迷惑となりますので、7時20～17時の時間帯に、Aパドック内で行ってください。
- ・最終コーナー立ち上がり左側、赤白縁石外側の退避レーン（緑色の部分）は、走行時の転倒や接触を防ぐ為の緊急回避スペースとなり、原則として使用は認められていません。これに違反した場合は、罰則の対象となる場合がございますのでご注意ください。また、一度退避レーンへ出た車両がコースに戻る際の接触事故が発生しています。細心の注意を払うようお願い致します。
- ・予選およびサイティングラップへのコースイン時にピットレーン（走行レーン）で待機する場合は、スタンドおよびタイヤウォーマーの使用は禁止といたします。タイヤウォーマーは作業レーンで装着するようにしてください。

1. ライダー受付（筑波サーキットホール）

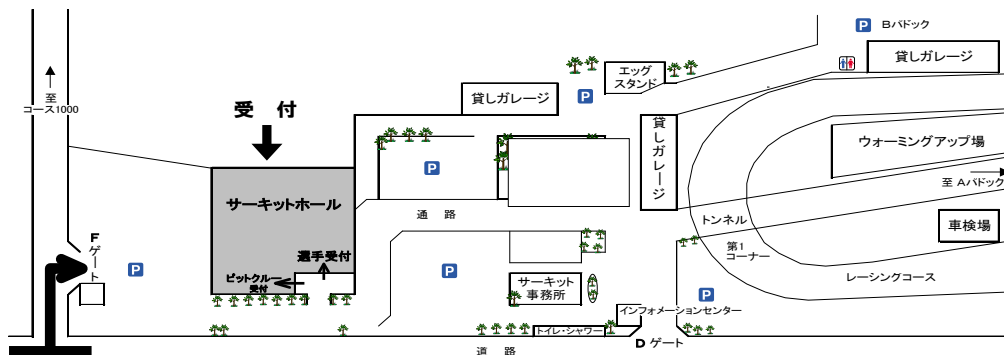
6月20日（土） 13:00～14:30 ※クラス別に時間設定あり／6月22日（日） 6:30～ 7:30

提示物 ①2026MF J競技ライセンス（提示できない者は理由の如何に関わらず出場できない） ②参加受理書

③車両仕様書・装備申告書（無記入の車両仕様書では受付できない） ④MF Jメディカルパスポート

※MF Jメディカルパスポートの提示が必須となります。必ず持参してください。

※健康保険証は、各自必ず所持をすること。



★連絡車は自転車に限る（ミニバイク・スクーター・キックボード等は禁止）。

2. ピットクルー受付

- (1) 今大会は、MF Jピットクルーライセンスの確認は行わない。（ピットクルー受付は行いません）
- (2) 参加受理書にピットクルーバスを同封する。ピットクルーとして登録されていない人がバスを使用するなど、不正が発覚した場合には不正入場とみなし、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられ、発覚時点から競技に参加できない。
配布されたバスは、常に見える位置に装着すること。
- (3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずライダー受付時に変更を届け出ること。（変更料は1名に付1,100円）
- (4) ピットクルーは大会当日においても規定人数まで申請できる。ただし、1名につき3,300円の申請料が必要となる。
- (5) 事前販売したパドックパスではピットロード、スターティンググリッドへの入場はできない。

3. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、7:20から16:00までとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。

※Aパドック内及びBパドックでの暖機運転が認められるが、マシンの移動は全て押し歩きとする。

ただし、今大会に限り6月20日（土）の特別スポーツ走行日は、乗車移動を可能とする。

4. 公式車両検査

- (1) 時間：別紙タイムスケジュール参照
- (2) 場所：Aパドック内車検場
- (3) 提示物：①参加車両 ②車両仕様書・装備申告書（受付印済みのもの） ③装備一式
※全ての装備を検査いたします。持ち込み忘れのないようご注意ください。

※22歳以下および55歳以上のライダーは、MF J公認エアバッグの装着が必須となります。

※NinjaTeamGreenCupについては30歳以下および55歳以上のライダーとなります。

- (4) 車検場にはアンダーカウルを外した状態で車両を持ち込み、外したアンダーカウルも持参しなければならない。
- (5) トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。(取付場所は、メインフレームフレームピポッドシャフト付近とする)
※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体：72,000円(税込)/ホルダー：1,000円(税込)
- (6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること(2台目以降のカメラ取り付けは有料)。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし脱落防止に努めること。走行中に脱落した場合には罰則(罰金を含む)を科す場合がある。
- (7) 車検時に申告した内容(ヘルメット等の装備を含む)に変更のある場合は、必ずその内容について車検長に申告し、再車検を受けること。

5. サーキット内供給燃料について

- (1) 供給時間；6月20日(土)7:00~16:30 / 6月21日(日)7:00~16:00
- (2) 供給場所；筑波サーキットAパドック内アポロステーション

6. ポストの運用について

バックストレート中間付近に設置されている5ポスト背面側(バックストレート側)は、6.5ポストとして運用する。旗の運用も、他のポストと同様とする。

7. ピットボックスの使用について

今大会は、ART管理の下、全日本クラスへのピット割が行われており、使用できるピットはNo.1~9のみとなる。予選、決勝ともスタート前チェック完了後、ピットレーンへの進入以降は、ピット前作業エリアにて作業を行うこと。No.1~9ピットを使用する場合、ピットボックス内への工具の搬入は認められるが、限られたスペースとなる為、譲り合って使用すること。なお、ピットボックスの独占は禁止とし、走行終了後は速やかに次のクラスが使用できるようにすること。

8. コースイン・コースアウトについて

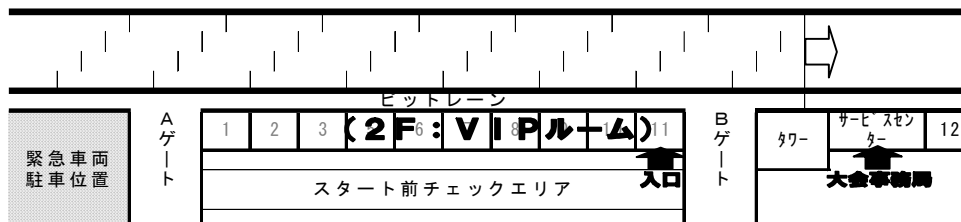
- (1) 予選・決勝レースを通じ、ピットレーンへの移動は、Bゲートからとする。ピットレーンにマシンを入れるタイミングは、オフィシャルの指示に従うこと。
- (2) 予選・決勝レースを通じ、コースアウトはAゲートとする。
- (3) 予選時間内であれば、トラブルなど特別な理由の場合は、パドックに入った後もコースに復帰できる。
- (4) コースイン、コースアウトの際、走路とピットレーンを区分するホワイトラインおよびイエローラインを横切ってはならない。

9. 出走嘆願書の扱い

- (1) 予選基準タイムに満たない選手について、過去の実績を考慮した上で、審査委員会の判断で出場を認める場合がある。
- (2) 予選に出走していないライダーの出走嘆願書は受け付けられない場合がある。
- (3) 出走嘆願書の提出期限は予選暫定結果発表後30分以内とする。
- (4) 出走の可否は、審査委員会により審議され、正式グリッド表にて発表する。

10. ブリーフィング

ブリーフィングをVIPルームにて行う。決勝レースの進行方法、注意事項、最終的な変更事項等の確認を行う。時間になったら必ず集合すること。出欠が取られ、欠席は5,000円、遅刻は2,500円の再ブリーフィング手数料が科せられる。



11. 決勝スタート前チェック

- (1) 決勝スタート前チェックは、スタート予定時間の25分前に開始し11分前に終了する。
なお、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなす。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) スタート前チェック時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットを持参すること。
- (4) 何らかの理由によりタイムスケジュールが遅延した場合でも、スタート前チェックは定められた時間通りに行う。

なお、新たに大会事務局より時間が設定された場合には、その指示に従うこと。

12. サイティングラップ

- (1) サイティングラップ開始から2分後にピットレーン出口は閉鎖される。サイティングラップを行うライダーは、ピットレーン出口閉鎖までに、サイティングラップを1周して、スターティンググリッドに着くこと。(サイティングラップは義務づけられない)それ以降にグリッドにつく場合はオフィシャルの指示に従って直接自分のマシンをグリッドに押して行くことができる。サイティングラップ開始後のグリッド上での給油は禁止される。
- (2) 全てのクラスで、グリッド上でのタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーター(蓄電式含む)の使用が認められる。マシン1台につき1人で持ち運び可能なハンディタイプ(市販状態で取っ手が一つのもの)のジェネレーター(蓄電式含む)1台迄可能とし、他のマシンの移動に支障が無い位置に配置すること。ただし、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。

13. ウォーミングアップラップスタート方法

- (1) 1分前エンジン始動(正規の位置後方よりエンジンをかけ、正規の位置に待機)
- (2) スタートオフィシャルの振動提示するグリーンフラッグの指示でライダーはスタートし、1周走行する。

14. ピットレーン先端(ピット前)シグナルライトについて

ピットレーン先端のシグナルライトは、緑(コースイン可)、赤(コースイン不可)となる。無灯の場合は、緑灯と同様に扱う。また、公式予選およびレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。

ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと(第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること)。

15. ジャンプスタート

- (1) ライドスルーペナルティー
 - ①該当ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードをコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。
 - ②当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。
 - ③ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティーを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。
- (2) レース終了までにペナルティが消化できないときは、競技結果へ30秒加算される場合もある。
- (3) RIDE THROUGHボードは、5.5番コース監視ポスト(第2ヘアピン内側)でも提示される。

16. ピットレーンの速度制限

ピットレーン走行中の違反は、重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落として常に停止できる状態で走行すること。なお、ピットレーンの制限スピードは40km/h以下とし、違反した場合には罰則が科せられる。また、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーン上に出てはならない。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

17. ウェットボード提示の判断基準の追加

サイティングラップ開始時点で、路面が全部又は一部がウェットコンディションである場合。(ハーフウェットを含む)

- [例] ①サイティングラップからグリッドに戻り、ウォーミングアップラップ開始までに降雨があった場合は、ウェットボードを提示し、ウォーミングアップラップスタートを遅らせタイヤ交換の時間をとる。(5分間)
- ②ウォーミングアップラップ中に降雨があった場合は、グリッドに戻り、タイヤ交換の時間を与え、ウォーミングアップラップからやり直す。この場合1周減算。
- ③スタート直後に降雨があり、赤旗提示がされた場合は再スタート。

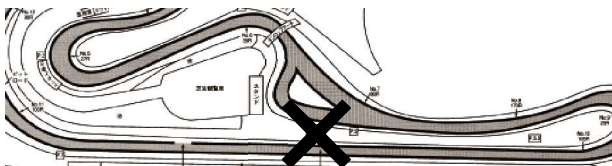
18. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	成立周回数
マイスター250	15 L	11 L	10 L
Over60Kid's	10 L	7 L	6 L
NinjaTeamGreenCup	10 L	7 L	6 L
G310Trophy	12 L	9 L	8 L

※各クラスにおいて、WE T時(WE T宣言が提示された場合)は、決勝レース周回数を2周減算する場合がある。その場合各レースのサイティングラップ開始までに公示される。

20. ショートカット

ショートカットの使用は禁止される。
使用した場合にはペナルティが科せられる。



21. 走路外走行

走行中、ライダーは常に走路を走行しなければならないが、危険回避等のやむを得ない場合を除き、故意に走路を外れること（走路外走行）は認められない。対象となる場所は、最終コーナー立ち上がりアウト（左）側、縁石外側の退避レーン（緑色ペイント部分）とし、違反した場合、以下の処置が適用される。

予選：当該ラップタイムの抹消 / 決勝：審議対象となり、回数に応じた罰則が適用される

22. チェッカーフラッグの提示場所

予選・決勝を通じ、チェッカーフラッグはフラッグタワーにて提示される。また、視認性向上のためフラッグタワー下（後方）でも補助的に出される場合がある。

23. 再車検について

- （1）マイスター250/NinjaTeamGreenCup/G310Trophyは、各レース終了後に、正賞対象順位で車両保管を行う。暫定表彰式終了後、オフィシャルの指示に従い、マシンを車検場に移動すること。
- （2）車両返却時のトラブル防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、ライダーのMF Jライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。

24. 暫定表彰式および表彰式

- （1）下記のライダーに対し、暫定表彰式を各レース終了後にコース上で行う。ただし、タイムスケジュールの都合によりパドック等で行う場合がある。また、全競技終了後の表彰式は行わない。
- （2）スパークリングウォーターを授与いたします。
- （3）筑波賞を授与いたします。
マイスター250(M) 1位：賞金10万円 2位：賞金5万円 3位：賞金3万円
マイスター250(S) 1位：賞金5万円
- （4）下記のライダーに対し、正賞の楯を正式結果発表後にサービスセンターにて授与する。受け渡しは大会終了時までとし、終了後は、受け取りを拒否したものとみなす。（※ライダーのMF Jライセンスを持参してください）

クラス	暫定表彰式	正 賞	クラス	暫定表彰式	正 賞
マイスター250 (M)	1～3位	1～3位	NinjaTeamGreenCupクラス1	1～3位	1～3位
マイスター250 (S)	1～2位	1位	NinjaTeamGreenCupクラス2	1～3位	1～3位
Over60Kid's	全車ホームストレート整列	—	G310Trophy(ラジアル)	1～3位	1～3位
			G310Trophy(バイアス)	1～3位	1～3位

※Over60Kid'sは、決勝レース終了後、全車ホームストレートに戻っていただき、レース後に選手紹介等のセレモニーを実施いたします。

25. 医療施設の利用義務

- （1）負傷したライダーは最初に施設の医務室で診断を受けること。医務室の診断記録に記録がないと保険がおりない場合がある。
- （2）サーキット指定病院：茨城西南医療センター病院 〒306-0400 茨城県猿島郡境町2190 TEL:0296-87-8111

☆お願い 施設内の安全管理の為、エントリー1台に対して消火器を1本携帯していただきますようお願いいたします。

お知らせ パドック間のコース横断・往来について

各パドックとコースの往来が行えます。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるためとなります。各走行のインターバル時に下記を開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック（1ヘアピン側ゲート）⇔ Aパドック（ドライバーズサロン脇ゲート）

2. メインスタンド側駐車場（P4）⇔ Aパドック（ガソリンスタンド脇）

※朝の時間帯のコース横断可能時間は、土曜日 5:30～7:30、日曜日 5:30～7:30迄といたします。以降は各走行インターバルでの開放となりますが、状況により、オープンできない場合もございますのでご了承ください。

本通知に記載されていない事項は、2026MF J国内競技規則、2026筑波マイスター・トロフィー特別規則に準ずる。